



ジョイフル コミュニケーション!
Salesian Bulletin Japan

ドン・ボスコの風



2018

Bienvenido a
Japón!

Padre Ángel Fernández Artime
El Encanto de la Fe y el Amor

November
2018



サレジオ会総長

アンヘル・フェルナンデス・ アルティメ神父

総長 2018年 11月7日～13日
訪日 【調布・宮崎・小平・赤羽・横浜】

来日特別号

CONTENTS

- p2 総長メッセージ「若者と共に、喜びをもって生きよう」
- p3 こんにちは! フェルナンデス神父さま!
- p4 フェルナンデス総長のことば
- p6 ドン・ボスコのように生きる仲間たち サレジオ家族
- p8 サレジオ会の歴代総長たち

Message from Rector Major

日本のサレジオ家族の皆さん、
こんにちは!

若者と共に、 喜びをもって生きよう

日本のサレジオ会員の皆さん、サレジオ家族・協働者の皆さん、そして日本の若者の皆さん、皆さんのところへ、すぐにでも飛んで行きたい気持ちを込めて、この挨拶を送ります。日本への訪問はとても楽しみで、幸せな気持ちです。何年も前から、日本に行くことを祈っていました。

この機会に、ドン・ボスコが私たちの父であることを意識し、祝うことができるでしょう。また、私たち皆がサレジオ家族であることを喜び祝うことができるでしょう。

サレジオ会の使命の中心であり優先すべき、若者たちとも一緒に過ごしたいと思います。皆さんが日本の若者のために一緒に働いてくださっていることに、心から感謝します。

共に心をつにして神様を賛美しましょう。私たちの反省や分かち合いもしましょう。そして、皆さんとたくさんの記念写真を撮りましょう。

目的は、主イエスの福音を喜びをもって生きること、若者と共に生きる喜びを味わうことです。

神様が私たちと共にいてくださること、ドン・ボスコにしてくださいましたように、聖母マリアが現代の私たちのために、すべて取りはからってくださいることを忘れないようにしましょう。ドン・ボスコは日本のサレジオ会、サレジオ家族の皆さんを見守ってくださいます。

皆さんに心からの挨拶を送ります。サレジオ会員の一人ひとりに、そして若者の皆さんに特別な挨拶を送り、主の豊かな祝福を願います。

サレジオ会第11代総長

アンヘル・フェルナンデス・アルティメ神父

2018年7月 サレジオ会ローマ総本部 サクロクオーレ聖堂にて



Fr. Ángel Fernández Artime, SDB, Rector Major

1960年8月21日、スペイン北部アストゥリアス州ゴン・ルアンコ生まれ。58歳。18歳でサレジオ会に入会、27歳で司祭叙階。スペインで管区青少年司牧担当、オウレンセの学校長、レオン管区長、2009年からアルゼンチン南管区長などを務め、2014年3月25日よりサレジオ会総長を務める。



2018年7月、山野内倫昭司教(前管区長)と濱口秀昭管区長はローマのサレジオ会総本部を訪問。左から副総長フランチェスコ・チェレダ神父、山野内司教、総長アンヘル・フェルナンデス・アルティメ神父、濱口管区長。



メッセージの動画は、こちらのQRコードからご覧いただけます。
(YouTube) <https://youtu.be/V1d41FOmrZA>

こんにちは! フェルナンデス神父さま!

Hola! Padre Fernández!

ドン・ボスコの10番目の後継者である
フェルナンデス総長に質問してみました!



総長の故郷、スペイン北部の町ルアンコ。
自然豊かな海辺の漁村。

どんな少年時代でしたか?

スペイン北部の大自然と海、太陽に恵まれた海辺の漁村で生まれました。両親や祖母、親戚たちの豊かな愛情に包まれて、明るく穏やか、活発で感情豊かに育ちました。

なぜサレジオ会の神父に?

父は漁師で、海に出る時はいつも神に祈り、ゆだねていました。素朴で信仰にあふれた家族の中で私は育ちました。そしてサレジオ会の学校で勉強できたからです。サレジオ会員たちの友情にあふれた接し方、素朴さ、親しさに心を奪われました! 医学や科学を学ぼうと思っていたのですが、幸せが約束された生活をサレジオ会員たちと共にしたいと望んだのです。

困難に直面したことは?

どんな人生や役割を選んでも必ず困難はあります。私もさまざまな困難に直面しましたが、神とサレジオ会によって与えられた可能性、つまり日々若者たちと共に考え、若者と共に夢を見ることによって、豊かなものとされました。

ドン・ボスコはどんな存在?

大きな愛と情熱です! もちろん主イエスこそ私の人生を支える方ですが、ドン・ボスコについて考えると心が揺さぶられます。総長として、私の心がドン・ボスコの心に似ること、彼が感じるように感じ、彼が考えるように考える恵みを与えてくださるように祈ります。

フェルナンデス総長の

ことば

Words of the Rector Major

k o t o b a

世界中のサレジオ家族、特に若者たちに贈るフェルナンデス総長の情熱と“お父さん”のようないつくしみにあふれることばを紹介します。



Facebook (ANGEL Fernández-Rector MAYOR) や動画等でも日々メッセージを発信中!



ドン・ボスコのように**最も小さく貧しい、私たちが必要とする若者のところへ出向きましょう。**

困難のうちにある若者こそ私たちの善であり、私たちが愛によって生きるよう助けてくれるでしょう。

(ストレンナ2015紹介より)



シエラレオネの若者たちと



トリノ・ヴァルドッコの学校の生徒たちと

共に旅を歩むということは、一人ひとりが自分という贈り物を差し出しながら、私たちが互いに教え合うことです。**皆さんと共に、皆さんの中で、皆さんの傍らで、一緒に旅を歩ませてください。**

(2015年1月31日 若者たちへのメッセージ)

ドン・ボスコは若者の皆さんに、こう言うでしょう。「私は君たちを信じている。自分の人生の主演であれ。誠実な市民、善良なキリスト者であれ。**世界と向き合い、正直に、人には公正で、誠実に働きなさい。**苦しむ人、恵まれない人、自らを守るすべのない人にあわれみ深い心をもつように」と。

(2015年8月13日 SYM Don Bosco 2015大会で)



メキシコの若者たちと

世界中の何千何百万もの若者たちが、皆さんを必要としています。**与えること、自分自身を贈り物にすることが、サレジオの若者の生き方です。**

(2015年8月13日 SYM Don Bosco 2015大会で)

多くの家庭が痛ましい状況にあります。

深刻な危機の中にある人びとに**共感し、理解し、寄り添う力を大きく育てましょう。**

(ストレンナ2017ビデオメッセージより)



ボリビアの子どもと

耳を傾けるのは難しいことです。つい自分の考えばかり話したり、相手を否定したり、責めたり、沈黙が耐えられずに急かしたりしてしまいがちです。しっかりと**耳を傾け、相手の存在を受けとめ、信頼と友情に満ちた雰囲気**を大切にすれば、人生を共に分かち合いながら豊かに成長できるでしょう。

(ストレンナ2018解説より)



ブラジルの若者たちと

親愛なる若者の皆さん、**私は皆さんを信じています。**たとえ時に難しく思うことがあっても、**夢や理想を捨てないでください。**

情熱をもって幸せを、そして皆さんが幸せで満たされたと実感する深く真正なものを探し求めてください。

(2018年1月31日 若者たちへのメッセージ)



イタリアで開催された[SYM Don Bosco 2015]サレジオ青年巡礼で。若者にさりげなく混ざって、大きな手で握手!

ドン・ボスコのように 生きる仲間たち

サレジオ家族

We are the
Salesian Family!

ドン・ボスコは、世界中で助けを必要とする青少年や貧しい人びとと出会うことを願いました。

その精神を受け継ぐ修道者・信徒・協力者たちを、サレジオ家族（サレジアンファミリー）と呼んでいます。世界130以上の国で、31グループ、40万人以上のメンバーが、学校・教会・社会生活のさまざまな場面で、青少年や貧しい人びとのために奉仕しています。

日本では8グループのサレジオ家族が活動しています。



サレジオ会

Salesiani di Don Bosco (SDB)

青少年のために働く 男子修道会

青少年のために働く男子修道会。1859年、ドン・ボスコにより創立。日本では、教会・ユースセンター、学校教育、児童福祉、出版、滞日外国人の支援、国際ボランティアなどの事業に携わり、特に青少年教育とキリストの愛を伝えるために献身している。



サレジアン・シスターズ

(扶助者聖母会)

Istituto Figlie di Maria Ausiliatrice (FMA)

青少年のために働く 女子修道会

青少年のために働く女子修道会。1872年、ドン・ボスコとマリア・マザレロにより創立。日本では、教会・ユースセンター、学校教育、児童福祉、国際ボランティア、カウンセリング、滞日外国人の支援などの事業に携わり、教育を通して、青少年のために献身している。



イエスのカリタス 修道女会

Suore della Carità di Gesù (SCG)

貧しく小さい人びとのために働く 女子修道会

1937年、日本の宮崎で、カヴェオリ神父が共同創立者チマッティ神父の勧めで創立した女子修道会。神の憐み深い愛「カリタス」を、特に貧しく小さい人びとに伝えるため、15か国で教会、学校教育、社会福祉、医療などの事業に携わり活動している。



サレジアニ・ コオペラトリー

Associazione Salesiani Cooperatori (ASC)

善良なキリスト者、誠実な社会人として

サレジオ会やサレジアン・シスターズの指導を受けながら協働者として生きる一般信徒の会。1876年「善良なキリスト者、誠実な社会人の会」としてドン・ボスコにより設立。各自は社会生活を営みながら、生涯を通して自己の養成に励み、教会の一員として奉仕すると共に、弱い立場の人、特に青少年に強い関心を持って、その育成に関わる活動をする。



教会・ユースセンター・滞日外国人支援



児童福祉



学校教育



青少年司牧・ボランティア



神学院・修道者養成



医療・高齢者福祉



出版・メディア



海外宣教



扶助者聖マリアの会

Associazione di Maria Ausiliatrice (ADMA)

「聖体の崇敬と扶助者聖マリアへの 信心を促進する」ための祈りの会

1869年、ドン・ボスコにより創立。会員は聖マリアを信仰の模範として、教会と一致しながら信仰生活を歩む。青少年や助けを必要とする人のために祈り働き、司祭・修道者の召命のために祈り支える。



ドン・ボスコ女子在俗会

Istituto Scolare Volontarie di Don Bosco (VDB)

生活の場、職場と教会で 奉獻生活をおくる

1917年、第4代総長リナルディ神父により創立。召命の場は各自の生活の場、特に職場と教会にあり、仕事においてプロであること、経済的な自立、精神的な成熟が求められる。三誓願があり、聖マリアが全てを心に納めていたように奉獻者であることには沈黙を守る。



サレジオ同窓会連合

Confederazione Mondiale delle Exallievi ed Exallieve di Don Bosco (EXDB)

ドン・ボスコの教え子として 母校・社会に貢献する

1908年、第4代総長リナルディ神父により創立。サレジオ会の教育施設で学んだ精神を分かち合い、同窓会発展に努め、同窓生の交流・連携・研鑽等を推進。母校の発展に尽力し、よき社会人として広く社会に貢献することを目的とする。



扶助者聖母会同窓会連合

(ウニオーネ)

Confederazione Mondiale delle Exallieve ed Exallievi delle FMA (EXFMA)

ドン・ボスコとマリア・マザレロの 教え子として母校・社会に貢献する

1908年、第4代総長リナルディ神父により創立。サレジアン・シスターズの教育施設で学んだ精神を現実社会の中で継続して生かし、学びによって深め、家庭・地域・社会で実践し証しすることを目的とする。

ボランティア・宣教支援グループ

DBVG ドン・ボスコ海外青年ボランティアグループ
Don Bosco Volunteer Group

「社会貢献」と「青年たちの育成」を柱に、ソロモン諸島などのサレジオ会関連施設で短期ボランティア活動などを行う。サレジオ青年の発案で1991年にサレジオ会日本管区を母体として発足。人びととの出会いや交流体験を通して成長することを志す。

VIDES 女性の開発教育に奉仕する国際ボランティア
Volontariato Internazionale Donna Educazione Sviluppo

弱い立場にある青少年と女性の人権保護と発展のための教育に奉仕する、サレジアン・シスターズのボランティア活動。日本では1994年に発足。カンボジア・スタディーツアー、アジアの貧しい子どもの学資援助、国内で困難を抱える子どもへの奉仕など多様な活動を行う。

DBK ドン・ボスコ基金

サレジオ会の創立者ドン・ボスコの心をもって、特に助けを必要とする青少年を保護育成する国内外のプロジェクトを支援する。2008年にサレジオ会日本管区の呼びかけで発足。現在はサレジオ家族に広く協力を呼びかけ、日本を含む30以上の国と地域を支援している。

イエスのカリタス友の会

イエスのカリタス友の会は、イエスのカリタス修道女会が行う宣教活動を財政的に支援することを目的とし、2000年10月に設立されたボランティアグループ。貧困や孤獨で困難な状況にある人びと、特に高齢者や青少年、子どもと共に歩む活動を支える。

サレジオ会の 歴代総長たち

Don Bosco & His Successors

ド・ボスコと後継者

共にいて育った教え子が 「新しいド・ボスコ」になる

ド・ボスコは44歳の時、教え子たちと共に「青少年の魂の救いのために生涯をささげる」サレジオ会を創立。若者たちと向き合い、共に歩み、信頼し、すべてを分かち合いました。こうして、ド・ボスコの心は後継者たちに受け継がれてきたのです。

1 初代・創立者

ジョヴァンニ・ボスコ

[1815~1888]
[在任期間/1859~1888]

若者たちのための教育と魂の救いのために生涯をささげ、サレジオ会を創立。



Giovanni Bosco

2 ミケーレ・ルア

[1837~1910]
[在任期間/1888~1910]

ド・ボスコの教え子として精神を忠実に伝え、会の基盤作りと海外宣教に尽力。



Michele Rua

3 パオロ・アルベラ

[1844~1921]
[在任期間/1910~1921]

サレジオ会の靈性を深め、同窓生や協力者と協働するよう精神を広めた。



Paolo Albera

4 フィリッポ・リナルディ

[1856~1931]
[在任期間/1922~1931]

初代スペイン管区長。サレジオ家族を発展させ、チマッティ神父を日本に派遣。



Filippo Rinaldi

5 ピエトロ・リカルドネ

[1870~1951]
[在任期間/1932~1951]

教育事業、宣教師派遣、出版など、会の事業を組織化し飛躍的に発展させた。



Pietro Ricaldone

6 レナート・ジジヨッティ

[1892~1983]
[在任期間/1952~1965]

戦後の混乱期に世界中を視察、会全体の連帯感を強く活気づけた。



Renato Ziggiotti

7 ルイジ・リッチェリ

[1901~1989]
[在任期間/1965~1977]

第2バチカン公会議による変革にあわせ、サレジオ会会憲を改訂。



Luigi Ricceri

8 エジディオ・ヴィガノ

[1920~1995]
[在任期間/1977~1995]

教皇とバチカンのために貢献し、第三世界の問題にも取り組んだ。



Egidio Vigano

9 フアン・ベッキ

[1931~2002]
[在任期間/1996~2002]

対話と発信により、青少年司牧の刷新と活性化に尽力した。



Juan Vecchi

10 パスクアール・チャーベス

[1947~] [在任期間/2002~2014]

第2バチカン公会議40周年やド・ボスコ生誕200周年などに向けて、教会とサレジオ家族の原点を見つめ、新たな使命に導いた。



Pascual Chávez

11 現総長

アンヘル・フェルナンデス・アルティメ

[1960~] [在任期間/2014~]

若い行動力と、親しさにあふれるシンプルなメッセージで、現代の「最も貧しくされた若者」と出会う力強く導く。「ド・ボスコのように、若者と共に、若者のために」と呼びかけ、若者と語り合い受け入れる姿は「現代のド・ボスコ」と呼ぶにふさわしい。スペインで生まれ、青少年司牧担当、学校長、スペイン・レオン管区長、アルゼンチン南管区長などを歴任し、2014年より総長。



Ángel Fernández Artime